Form No. 3385-377 Rev C

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

11 および 14 枚刃カッティングユニット

Greensmaster® Flex™/eFlex® 1800/2100 トラクションユニット

モデル番号04251—シリアル番号 314001001 以上
モデル番号04252—シリアル番号 314001001 以上
モデル番号04253—シリアル番号 314001001 以上
モデル番号04254—シリアル番号 314001001 以上

製品の登録は www.Toro.com.
この文書は翻訳です。 (JA)

CE

3385-377 C

⚠ 警告

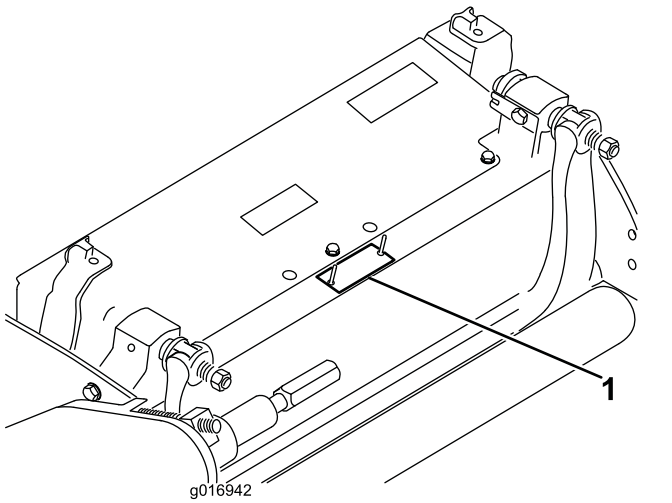
カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、また適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合www.Toro.comで製品の安全・運転講習資料の入手、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマー・サービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。



g016942

図 1

1. 銘板取り付け位置

モデル番号_____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 2を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



g000502

図 2

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

安全について 3
安全ラベルと指示ラベル 3
組み立て 4
1 前ローラを取り付ける 4
2 カッティングユニットのプロップ支え板の使い方 4
3 リールと下刃の調整を行う 4
4 後ローラを調整する 5
5 刈り高の調整 6
6 カットオフバーを調整する 7
7 eFlex 用にカッティングユニットを調整するには 8
製品の概要 10
仕様 10
アタッチメントとアクセサリ 10
運転操作 11
カッティングユニットの日常整備 11
設定の調整方法 11
保守 13
ベッドバーの整備 13
バックラップ 14

© 2017—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

連絡先 www.Toro.com.
Printed in the USA
禁無断転載

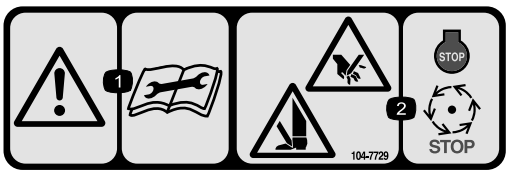
安全について

安全な御使用のためには機械の運転、移動や搬送、保守整備、保管などに係わる人々の日常の意識や心がけ、また適切な訓練などが極めて重要です。不適切な使い方をしたり手入れを怠ったりすると、死亡や負傷などの人身事故につながります。事故を防止するために以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。

- このカッティングユニットをお使いになる前に、トラクションユニットと、カッティングユニットのオペレーターズマニュアルとをよくお読みになり、内容を十分に理解し、適切な方法でお使いください。
- 作業場所に子供を近づけないでください。子供に運転させないでください。
- 疲れている時、病気の時、アルコールや薬物を摂取した時は取扱いを控えてください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく取り付けられていない時は、運転しないでください。
- 作業にふさわしい服装を安全めがね、すべりにくく安全な靴、聴覚保護具を着用してください。長い髪は束ねてください。装飾品は身に着けないでください。
- 作業場所をよく確認し、はね飛ばされる危険のあるものはすべて取り除いてください。作業場所から人を十分に遠ざけてください。
- 刃が硬いものにぶつかったりカッティングユニットが異常な振動をしたりした場合は 直ちに車両を止めてエンジンを停止し、カッティングユニットに損傷が発生していないか点検してください。損傷や異常があれば修理を行ってください。修理が終わるまでは作業を再開しないでください。
- 常に機械全体の安全を心掛け、また、ボルト、ナット、ねじ類が十分に締まっているかを確認してください。
- 整備・調整格納作業の前には、エンジンが不意に作動することのないよう、必ずキーを抜き取っておいてください。
- 大がかりな修理が必要になった時、補助が必要な時Toro 正規代理店にご相談ください。
- いつも最高の性能と安全性を維持するために、必ずToroの純正部品をご使用ください。他社の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があり、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。

安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal104-7729

104–7729

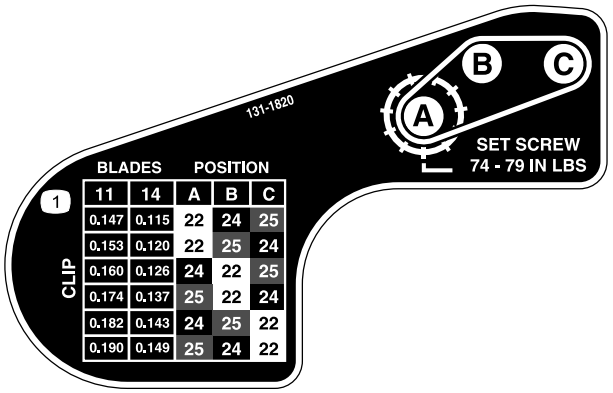
1. 警告 整備作業前にマニュアルを読むこと。
2. 手足や指の切断の危険エンジンを止め、各部が完全に停止するまで待つこと。



decal120-9570

120-9570

1. 警告 可動部に近づかないこと 全部のガード類を正しく取り付けて運転すること。



decal131-1820

131-1820

1. カッティングユニットのクリップチャート

組み立て

その他の付属品

内容	数量	用途
オペレーターズマニュアル	1	カッティングユニットを取り扱う前によくお読みください。
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。
認証証明書	1	将来のために保管してください。
ターゲットプレート ウェイトバー	1 1	eフレックス・トラクションユニットの場合に取り付けます。

1

前ローラを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

カッティングユニットの前ローラは取り付けられていません。 ローラに付属している説明書に従い、カッティングユニットの付属部品を使って、ローラをカッティングユニットに取り付けてください。

2

カッティングユニットのプロップ支え板の使い方

必要なパーツはありません。

手順

ベッドナイフやリールを見るためにカッティングユニットを立てる場合には、ベッドバー調整ねじのナットが床面に接触しないように、カッティングユニットの後ろ側をスタンドなどで支えてください図 3。

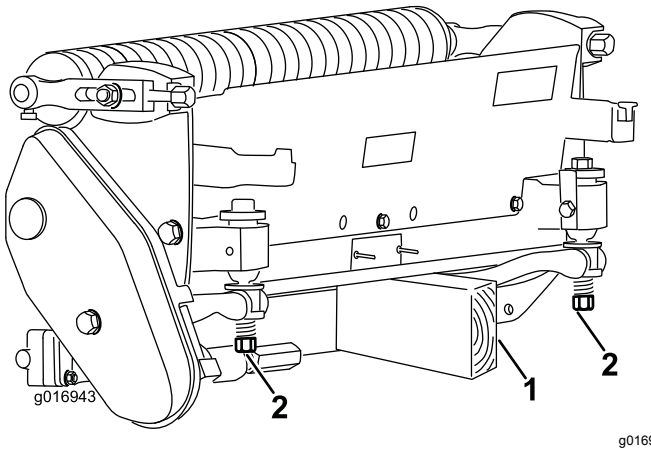


図 3

1. プロップ付属品ではありません
2. ベッドバー調整ねじのナット2個

3

リールと下刃の調整を行う

必要なパーツはありません。

手順

注 以下の作業は、研磨やバックラップや分解組立後に行うものです。毎日の調整作業**ではありません**。

注 eFlex では、カッティングユニットの刃合わせ調整が電力消費に大きな影響を与えます。刈り込みの品質、およびバッテリーの使用時間の両方のために、ごく軽い刃合わせをお奨めします。

1. カッティングユニットを平らな水平の作業台の上に置く。
2. ベッドナイフとリールが見えるようにカッティングユニットを立てる。

注 ユニットについているベッドバー調整ねじのナットなどが床に当たっていないことを確認する。図 3。

3. カッティングユニットの右端から数えて1番目と2番目の下刃ねじの間で1枚のリール刃と下刃とが交差するようにセットする。
4. 下刃と交差しているリール刃の交差部にマジックなどで印をつける。

   注 これはこの後の調整をやり易くするためである。
5. ステップ4でマークを付けたリール刃が下刃と交差しているところで、リール刃と下刃の間に、シム 0.05mm=0.002 インチを挿入する。
6. シムを左右に滑らせながら右側のベッドバー調整ねじ図 4を回して、シムに 軽い 圧迫シムが挟まれる感じを感じる程度に調整する。シムを抜き取る。

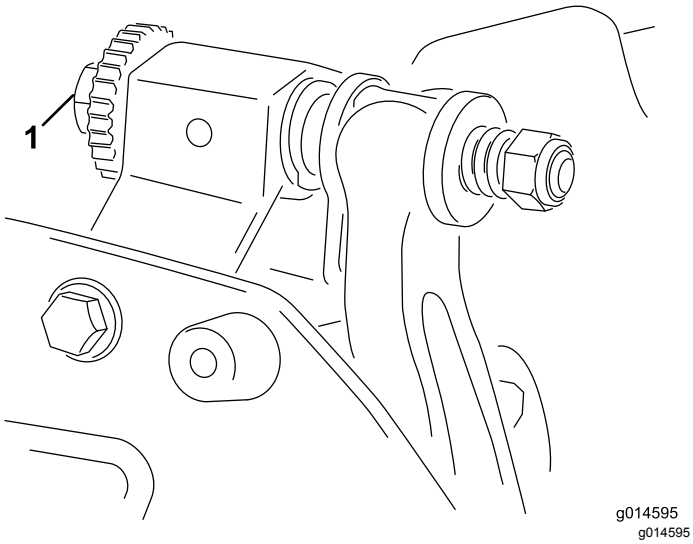


図 4

1. ベッドバー調整ねじ

7. カッティングユニットの左端で、ベッドナイフに一番近いリール刃を、左端から数えて1番目と2番目の下刃ねじの間で下刃と交差させる。
8. カッティングユニットの左側で、左側ベッドバー調整ねじを使って上記46の作業を行う。
9. ステップ 5 と 6 を繰り返して、カッティングユニットの左右両側で軽くはさまれる感じに調整する。
10. この状態から、左右のベッドバー調整ねじを右に3クリック回転させると、下刃とリール刃とが軽く接触するようになる。

    注 1回のクリックで、下刃が 0.018mm 移動します。**調整ねじを締めすぎないように注意してください。**

    ベッドバー調整ねじを右に回すと、ベッドナイフがリールに近づきます。ベッドバー調整ねじを左に回すと、ベッドナイフがリールから離れます。
11. 切れ味確認用のペーパーを一枚、リールと下刃との間に直角に差し入れて、カッティングユニットの切れ味をテストする図 5。ゆっくりとリールを回転させて紙が切れれば合格である。

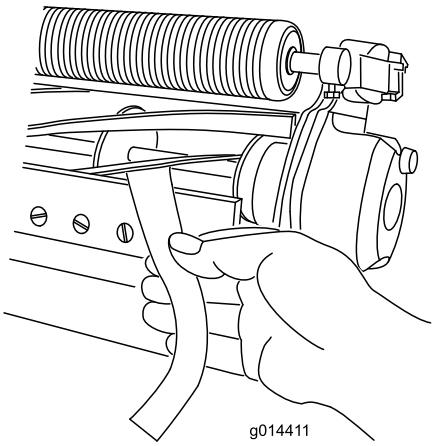


図 5

4

後ローラを調整する

必要なパーツはありません。

手順

使用する刈高によって、後ローラブラケットの取り付け位置を変更する必要があります図 6 または 図 7低位置または高位置のどちらかに設定します。

- 刈高 1.56mm の場合図 6のように、 スペーサをサイドプレート取り付けフランジの上にセット出荷時の設定する。

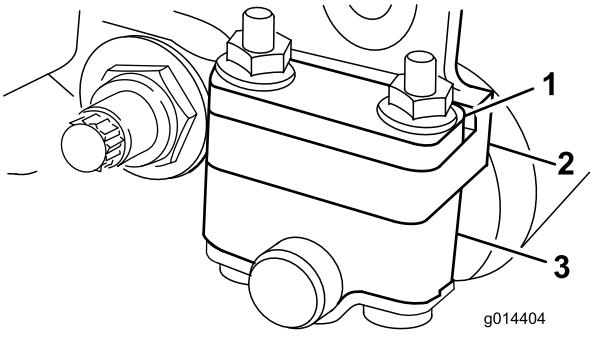
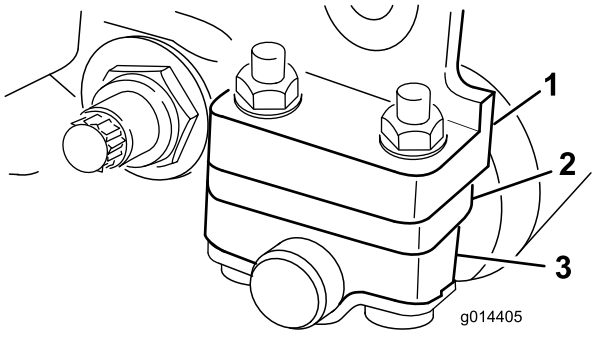


図 6

1. スペーサ
2. サイドプレート取り付けフランジ
3. ローラブラケット

- 刈高範囲が 325mm の場合は、図 7のように、スペーサを取り付けフランジの下にセットする。



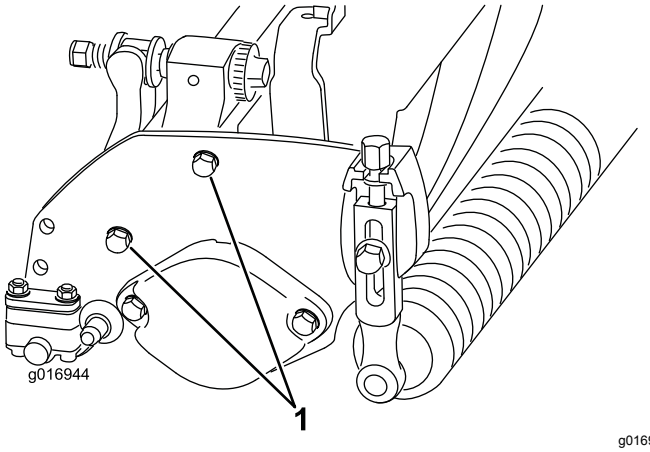
g014405

図 7

1. サイドプレート取り付けフランジ
2. スペーサ
3. ローラブラケット

1. カッティングユニットの後部を持ち上げてベッドナイフの下に角材などの枕を置く。
2. 各ローラブラケットをそれぞれのサイドプレート取り付けフランジおよびスペーサに固定しているナット2個を外す。
3. サイドプレート取り付けフランジとスペーサから、ローラとボルトを外す。
4. 必要に応じてスペーサを、ローラブラケットの上または下にする図 6または図 7。
5. ローラブラケットとスペーサとを、取り付けフランジの下側に、先ほど取り外したボルトを使って取り付ける。
6. ベッドナイフとリールのすき間の調整を確認する。マシンを傾けて、前ローラと後ローラ、およびベッドナイフが見えるようにする。

   注 リールと後ローラとの平行関係は、カッティングユニット全体の組み立て精度により保証されていますから、調整は不要です。ごくわずかな狂いを戻す調整は可能です。まず、定盤の上でサイドプレート組み付けボルトをゆるめます (図 8)。終了後にボルトを調整して締め付けてください。



g016944

図 8

1. サイドプレート組み付けボルト

重要 **カッティングユニットを傾けてベッドナイフとリールが見えるようにする際には、ベッドバー調整ねじが床や作業台に押し付けられることのないよう、カッティングユニット後部に支えを入れて浮かせてください図 3。**

5

刈り高の調整

必要なパーツはありません。

手順

注 このカッティングユニットには、エッジマックス・マイクロカットベッドナイフとスタンダードベッドバーが標準装備されています。実際の刈高は、これまでの刈り込みに使用していた機器の調整ローラ、下刃の先端からリールの中心線までの距離などやターフ自体のコンディショングリーンの硬さ、季節条件などによって異なります。まず、これまでの刈高設定よりも 0.250.38mm 程度高くセットして刈り込みを行い、仕上がり具合を見ながら調整をしてください。

注 刈高を 13mm よりも高くするには高刈りキットが必要です。

注 以下の表により、希望する刈高に最も適したベッドナイフを決定してください。

推奨ベッドナイフと刈高の選択チャート		
ベッドナイフ	**パーツ番号**	**刈高**
エッジマックス・マイクロカット標準	115-1880 (2100) 117-1530 (1800)	1.54.7mm
エッジマックス・トーナメントオプション	115-1881 (2100) 117-1532 (1800)	3.112.7mm
マイクロカットオプション	93-4262 (2100) 98-7261 (1800)	1.54.7mm
トーナメントオプション	93-4263 (2100) 98-7260 (1800)	3.112.7mm
先長マイクロカットオプション	108-4303 (2100) 110-2300 (1800)	1.54.7mm
先長トーナメントオプション	108-4302 (2100)	3.112.7mm
ローカットオプション	93-4264 (2100) 110-2301 (1800)	4.725.4mm

1. 刈り高アームをカッティングユニットのサイドプレートに固定しているロックナットをゆるめる図 9。

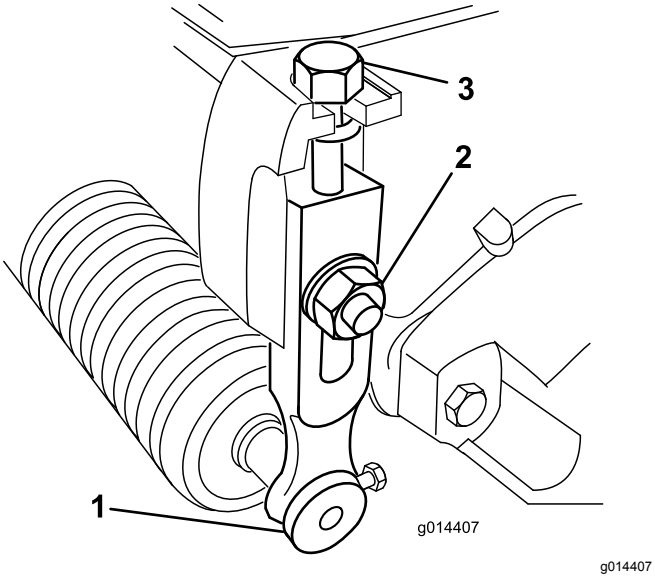


図 9

1. 刈高アーム
2. ロックナット
3. 調整ねじ

2. ゲージバーのナットをゆるめ、調整ねじを希望の刈り高に合わせる図 10

   注 ねじ頭の下からバーの表面までの距離が刈り高となる。

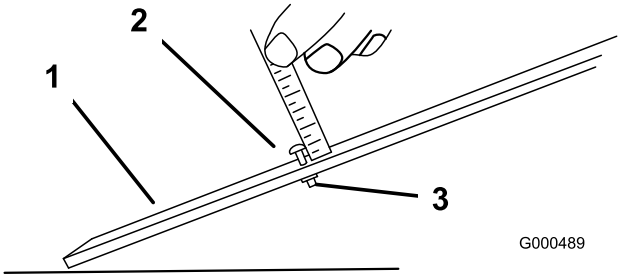


図 10

1. ゲージバー
2. 刈高調整ねじ
3. ナット

3. ゲージバーのねじの頭を下刃の先端に引っかけ、バーの後端を後ローラに当てがう図 11。

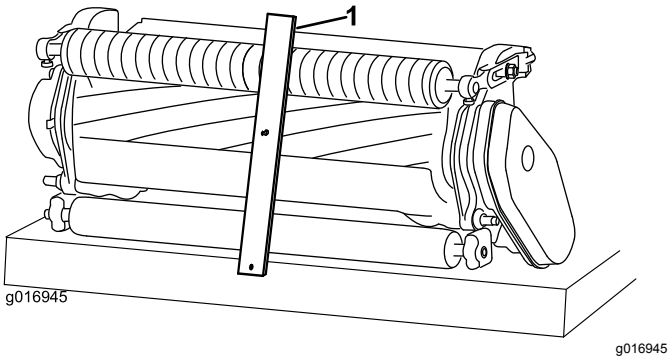


図 11

1. ゲージバー

4. バーの前端がローラに当たるように、調整ねじで調整する。
5. ローラ全体が下刃と平行になるように、ローラの両側を均等に調節する。

   重要 **前後のローラにゲージが当たり、ねじの頭がリールにぴったりと掛かっているのが正しい調整状態です。下刃の左右端でこの状態となるように調整してください。**
6. ワッシャの遊びがなくなるまで締め付ける。これで調整が決まる。

6

カットオフバーを調整する

必要なパーツはありません。

手順

刈りかすがリールからスムーズに出るように、以下の手順で調整します。

1. バー図 12をカッティングユニットに固定しているねじをゆるめる。

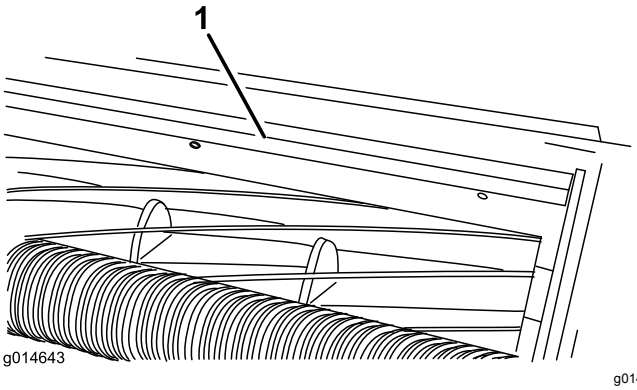


図 12

1. カットオフバー

2. 隙間ゲージを使って、リール上面とバーの間を1.5mm に調整し、ねじを締めてバーを固定する。

   ***重要*リールの全幅にわたって隙間の幅が一定となるように注意する**

   注 この調整はターフの状態変化に合わせて行ってください。芝面が非常に乾いている時にはバーをリールに近づけます。逆に、芝がぬれている時にはバーとリールの隙間を大きくします。いずれの場合も、リールとバーとが平行になることが重要です。また、リールの研磨を行った場合には必ずこの調整が必要です。

7

eFlex 用にカッティングユニットを調整するには

この作業に必要なパーツ

1	ターゲットプレート
1	ウェイトロッドトラクションユニットの付属品
1	フランジヘッドボルトトラクションユニットの付属品

ターゲットプレートを取り付ける

- eFlex トラクションユニットでこのカッティングユニットを使用する場合には、*eFlex のトラクションユニットのオペレーターズマニュアル*にしたがって、このカッティングユニットに付属しているターゲットプレートを取り付け、センサーの調整を行ってください。
- ガソリンエンジンタイプのマシンで使用する場合には、ターゲットプレートを取り付ける必要はありません。
- eFlex トラクションユニットとガソリンエンジンユニットの両方でこのカッティングユニットを使用する場合には、ターゲットプレートを取り付けます使用するトラクションユニットによってターゲットプレートを取り外すなどの必要はありません。

1. カッティングユニットの *オペレーターズマニュアル* にしたがってカッティングユニットの準備を行う。
2. 中央のグラスシールドボルトを外す図 13。
3. 取り外したボルトを使って、ターゲットプレートをカッティングユニット上部プラスチック製カウリングの下に取り付ける図 13。

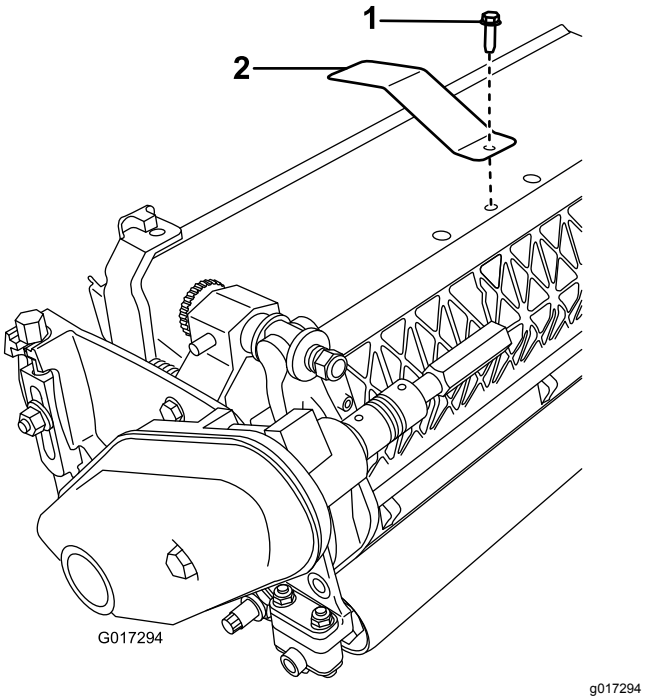


図 13

1. 中央のグラスシールドボルト　2. ターゲットプレート

ウェイトロッドを取り付ける

1. カッティングユニット右側の下穴を、9mm のドリルで拡大する 図 14。

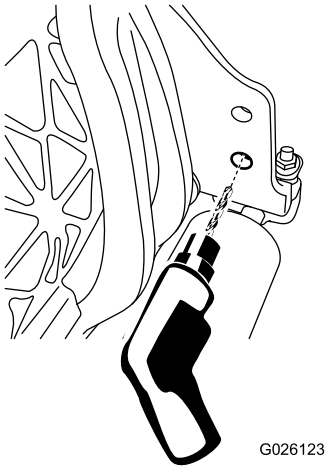
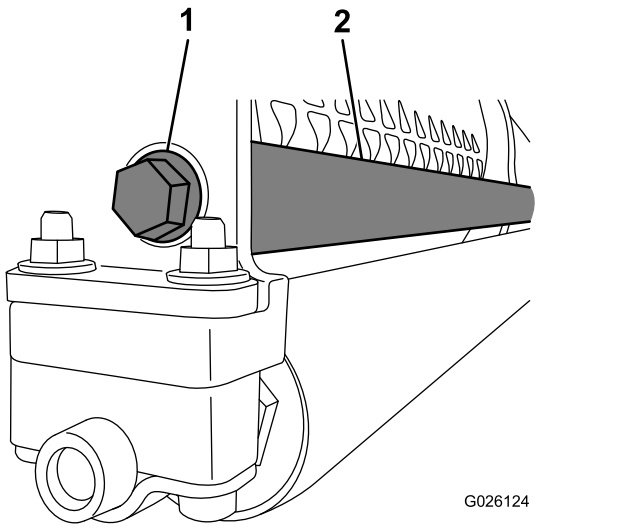


図 14

2. ウェイトロッドについているOリングにオイルを塗る。
3. ウェイトのOリング側の端部を先ほど拡大した穴に差し込む。
4. フランジヘッドボルトを使って、ウェイトロッドのねじ切り側の端部をフレームに固定する 図 15。



g026124

図 15

1. フランジヘッドボルト
2. ウェイトロッド

製品の概要

仕様

トラクタ	このカッティングユニットは、対応するサイズの Flex および eFlex のトラクションユニットに取り付けることができる。
刈高	ユニット左右にある垂直ねじ2本によって前ローラを上下させて刈高を調整し、固定キャップスクリュで固定する。
刈高調整範囲	ベンチ設定時の標準範囲は、1.6mm12.7mm。高刈りキットを装着した場合の設定範囲は、7mm25mm。実効刈高はターフのコンディション、ベッドナイフの種類、ローラの種類、装着しているアタッチメントなどによって変化する。
リールベアリング	ステンレス製シールド深溝ボールベアリング2個
ローラ	前ローラの直径 63mm複数種類の構成から選択が可能。後ローラは、フルローラで、直径は 51mm、材質はアルミニウム。
ベッドナイフ	交換式の高炭素鋼製片刃ナイフを、フライス仕上げの鋳鉄製ベッドバーに固定。2100ではねじ13本、1800ではねじ11本で装着する。
ベッドナイフの調整	ユニット左右にあるねじを1ノッチずつ回転させることにより、下刃を、0.018mm ずつ上または下に移動させて調整する。
グラスシールド	固定式シールドに可変式カットオフバーを組み合わせ、ぬれた刈りかすの排出効率を高めている。
カウンタウェイト	カッティングユニットのバランス調整のため、駆動ラインの向かい側に鋳鉄製のウェイトを搭載する。
純重量2100前ローラを含まない	11 枚刃32.2kg、14 枚刃33.5kg
純重量1800前ローラを含まない	11 枚刃30.8kg、14 枚刃32.2kg

アタッチメントとアクセサリ

トロが認定した各種のアタッチメントやアクセサリがそろっており、マシンの機能をさらに広げることができます。 詳細は弊社の正規サービスディーラ、または代理店へお問い合わせください弊社のウェブサイト www.Toro.com でもすべての認定アタッチメントとアクセサリをご覧になることができます。

運転操作

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

このカッティングユニットはDPA二点調整方式のカッティングユニットで、非常に簡単な調整で最適な刈り上がりを実現することができます。ベッドバーをカッティングユニットの左右2点で調整する方式ですので、刃先同士が軽く触れ合って相互に研磨作用を行う軽い当たりの調整に仕上げるのが簡単で、鋭い刃先が長持ちし、高品質な刈り込みを長時間連続することが可能であり、バックラップ回数を減らすことができます。

カッティングユニットの日常整備

毎日または必要に応じて、刈り込みに出発するまえに、各カッティングユニットの下刃とリールの刃合わせ状態を点検してください。この点検は、前日の調子に係わりなく必ず毎回行ってください。

1. 平らな固い床の上にカッティングユニットを降ろし、エンジンを停止、キーを抜き取る。
2. 以下の手順でマシンを停止させる
   - ガソリンユニットエンジンを停止させ、点火プラグのコードを外す。
   - 電動ユニットマシンのスイッチをOFFにし、バッテリーコネクタT形ハンドルを外す。
3. 手でリールをゆっくりと後ろ向きに回転させ、リールとベッドナイフの接触状態を耳で確認する。相互の接触が全くない場合は、ベッドナイフ調節ノブを1クリックずつ均等に締めながら、ごく軽い接触が得られるようにする。

   注 調整ノブのねじを1ノッチ回転させることにより、ベッドナイフが、0.018mm 移動します。
4. 相互の接触が強すぎる場合は、調整ノブをノッチずつゆるめながら、接触がまったくなくなるようにする。そしてその位置から調整ノブをノッチずつ締めて、ごく軽い接触が得られるようにする。

   重要 **どんな場合でもごく軽い接触がベストです。接触が全くないと、リールとベッドナイフの相互研磨作用が全くなくなるので、切れ味の落ちるのが早くなります。逆に、接触が強すぎると、相互の摩耗が早く進んで、刈り上がりに悪影響が出やすくなります。**

   注 eFlex では、カッティングユニットの刃合わせ調整が電力消費に大きな影響を与えます。刈り込みの品質、およびバッテリーの使用時間のいずれについても、ごく軽い刃合わせをお奨めします。

   注 ベッドナイフとリール刃は継続的に接触しているので、使用期間が長くなるとベッドナイフの全長にわたり、刃先部分に小さなバリが出来てきます。時々ヤスリでこのバリを取り除いてやると切れ味が向上します。

   ベッドナイフは、長期間使用しているうちにリールに削られ、リールの端部と接触する縁の部分が角張ってきます。この角張った部分は、ヤスリなどを使って丸めるか、下刃の刃先と面一にするかしてください。

設定の調整方法

カッティングユニットには6種類のクリップ設定があり、ターフのコンディションに合わせて適当な設定を選びます。まず、刈高に一番近いクリップに設定し、刈り上がりを見てそれよりも上、または下というふうに設定を変えてみることをお奨めします。

1. 以下の手順でマシンを停止させる
   - ガソリンユニットエンジンを停止させ、点火プラグのコードを外す。
   - 電動ユニットマシンのスイッチをOFFにし、バッテリーコネクタT形ハンドルを外す。
2. ベルトカバーを固定しているフランジボルトをゆるめてベルトカバーを外し、ベルトを露出させる(図 16)。

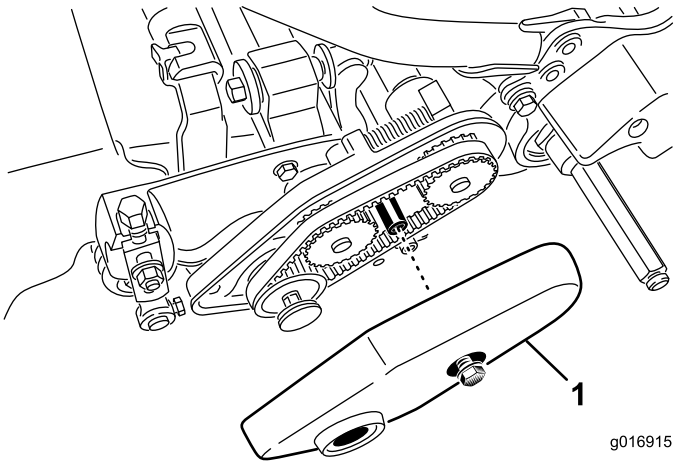
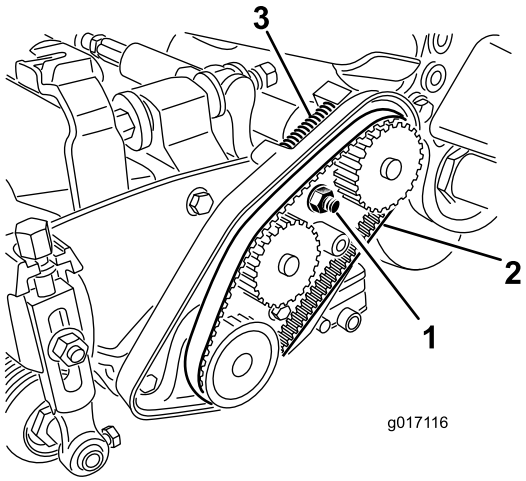


図 16

1. ベルトカバー

3. ベアリングハウジングのナットをゆるめる図 17。



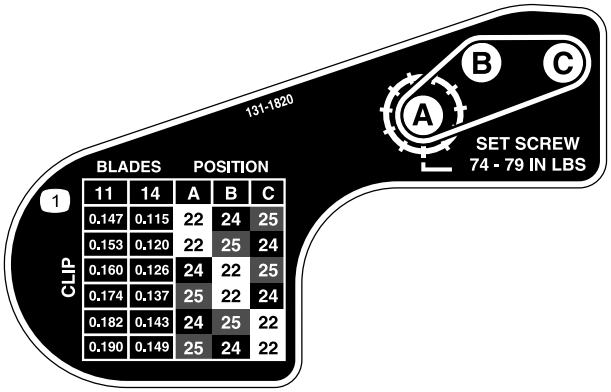
g017116

図 17

1. ベアリングハウジングのナット
2. リール駆動ベルト
3. 圧縮スプリング

4. 16mm⅝インチのトルクレンチでベアリングハウジングを回転させ、自由に動くことを確認する。
5. 各ベルトを取り外す図 17。
6. 図 18のデカルにある表を参考にして希望するクリップを決定し、そのクリップにセットするためにはどのプーリを移動させる必要があるかを調べる。

   注 各プーリには番号22、24、25がついている。希望するクリップ設定となるようにプーリを移動する。



decal131-1820

図 18

7. 移動する必要のある各プーリの固定ねじ2本を六角レンチを使ってゆるめる
8. 各プーリを外す。
9. 各プーリを、それぞれの新しい位置に取り付ける図 18。

   注 各プーリの固定ねじが、キーに合っていること、またシャフトの平たい面に当たっていることを確認する。
10. ねじを8.38.9 N0.850.91kg.m = 7479in-lbにトルク締めする。
11. ベルトを取り付ける。
12. 圧縮スプリングからベルトに適切な力が掛かっていることを確認する図 17。
13. ベアリングハウジングのナットを締め付ける。
14. ベルトカバーを取り付ける。

保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

ベッドバーの整備

ベッドバーの取り外し

1. ベッドバー調整ねじを左に回してベッドナイフとリールの接触をなくす図 19。

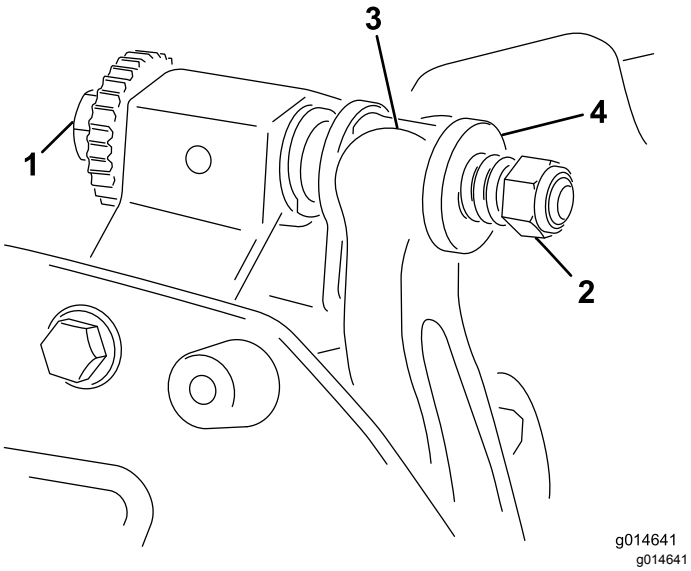


図 19

1. ベッドバー調整ねじ
2. スプリングテンションナット
3. ベッドバー
4. ワッシャ

2. スプリングテンションナットをゆるめて、ワッシャがベッドバーを全く押さないようにする図 19。
3. ベッドバーボルト図 20を固定しているロックナット機体両側をゆるめる。

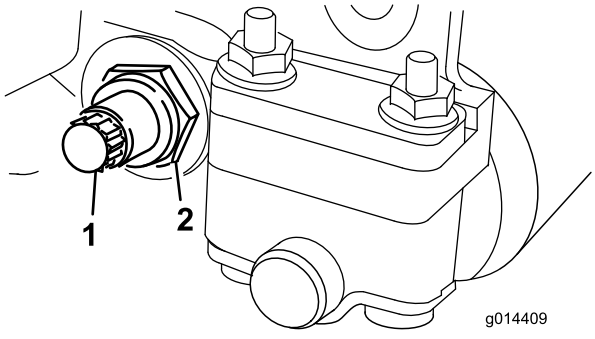


図 20

1. ベッドバーボルト
2. ロックナット

4. 各ベッドバーボルトを抜いてベッドバーを下に引き抜いて外す図 20。

   ベッドバーの両端にナイロンワッシャとスチールワッシャが2枚ずつあるので注意する図 21。

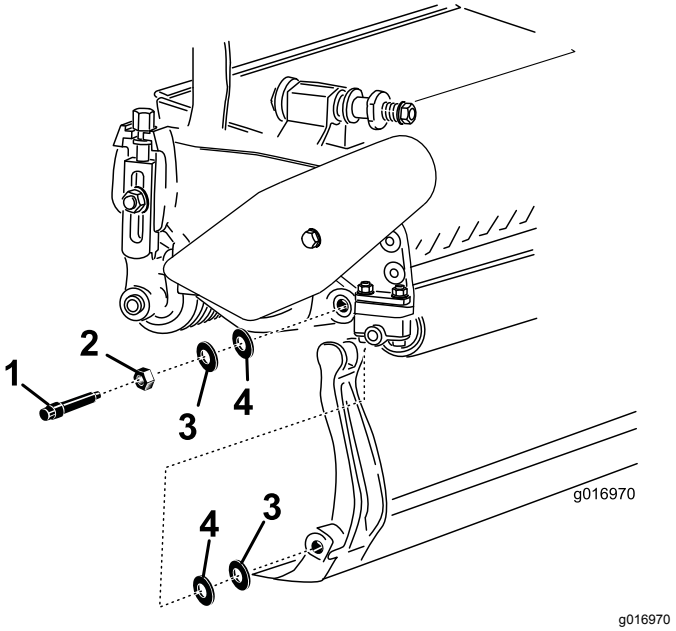


図 21

1. ベッドバーボルト
2. ナット
3. スチール製ワッシャ
4. ナイロン製ワッシャ

ベッドバーの取り付け

1. ベッドバーアジャスタとスラストワッシャとの間にベッドバーの固定用耳を入れる。
2. ベッドバーボルトとボルトについているナットとワッシャ4枚全部で8枚で、ベッドバーを各サイドプレートに固定する。
3. サイドプレートのボスの両側にナイロンワッシャを入れる。その外側からスチール製ワッシャを取り付ける (図 21)。
4. ベッドバーボルトを 27 36N·m (2.8 3.7kg.m = 240 320ch-lbにトルク締めする。左右の遊びが完全になくなって外側のスチール製ワッシャが回らなくなるまでロックナットを手で締め付ける。内側のワッシャには遊びがあってよい。

   重要 **ロックナットを締め付けすぎるとサイドプレートを変形させる恐れがあるので注意する。**

5. スプリングがつぶれるまでテンションナットを締め、そこから半回転戻す (図 22)。

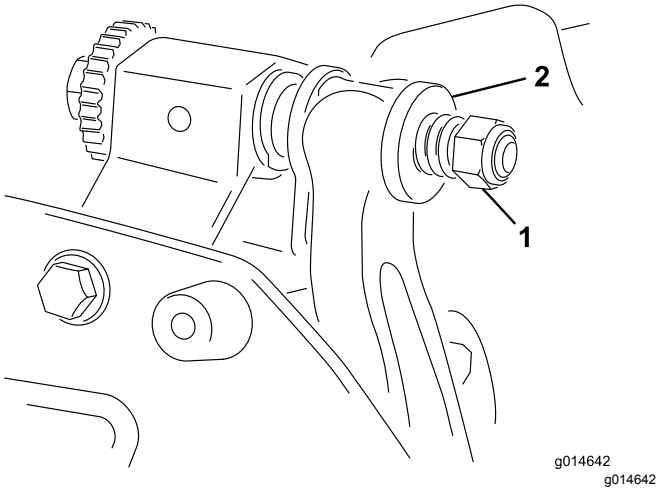


図 22

1. スプリングテンションナット　2. スプリング

バックラップ

⚠ 危険

回転しているリールに触れると大けがをする。

リールその他の可動部に手指、足、衣類等を近づけないよう注意すること。

- **バックラップ中のリールには、絶対に手や足を近づけないこと。**
- **柄の短いブラシは絶対にバックラップに使用しないこと。ハンドルアセンブリのパーツは弊社代理店からお求めになれます。**

バックラップは、カッティングユニットをトラクションユニットにとりつけたままでも、トラクションユニットから完全に外した状態でも行うことができます。カッティングユニットをトラクションユニットに取り付けたままで行う場合には、リールブレーキの磨耗を減らすために、トラクションユニットとカッティングユニットを接続している六角カップラをカッティングユニットから外してください。

1. 平らな、汚れのない場所に駐車する。
2. 以下の手順でマシンを停止させる
   - ガソリンユニットエンジンを停止させ、点火プラグのコードを外す。
   - 電動ユニットマシンのスイッチをOFFにし、バッテリーコネクタを外すT字コネクタ。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. バックラップ装置をカッティングユニットに接続しますこれは、カッティングユニット左側にあるリールプーリの出力シャフトに½ インチのソケットを入れて行います。

   注 バックラップについてのさらに詳しい説明が、*Toro リール/ロータリーモアのための研磨マニュアル*Form No. 80-300PTに掲載されています。

注 バックラップが終わったら、ベッドナイフの前端に軽くヤスリ掛けを行ってください。これによりベッドナイフ前端に形成されたバリが除去されます。刃先から完全にバリを取り除くためには、非常に軽い感覚のヤスリ掛けが必要です。

注 カッティングユニットをトラクションユニットにとりつけたままでバックラップを行った場合には、作業後に、トラクションユニットとカッティングユニットを接続する六角駆動シャフトカップルを取り付けてください。

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
04251	314000001 以上	グリーンズマスター Flex/eFlex 2100 トラクションユニット用11枚刃カッティングユニット	11 BLADE-FLEX 2100	芝刈り機	2006/42/EC
04252	314000001 以上	グリーンズマスター Flex/eFlex 2100 トラクションユニット用14枚刃カッティングユニット	14 BLADE-FLEX 2100	芝刈り機	2006/42/EC
04253	314000001 以上	グリーンズマスター Flex/eFlex 1800 トラクションユニット用11枚刃カッティングユニット	11 BLADE-FLEX 1800	芝刈り機	2006/42/EC
04254	314000001 以上	グリーンズマスター Flex/eFlex 1800 トラクションユニット用14枚刃カッティングユニット	14 BLADE-FLEX 1800	芝刈り機	2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



David Klis
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
December 18, 2013

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

Tel. +32 16 386 659

Toro 製品の総合品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 or 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。*オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。 バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。